



平成15年1月17日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所の定常運転再開について

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット、定格熱出力一定運転中）は、昨年12月9日より第19回定期検査の最終段階である調整運転を実施しておりましたが、本日経済産業省の最終検査を終了し、定常運転を再開しましたのでお知らせします。

なお、調整運転中に原子炉再循環流量制御弁（B）開度の検出器に起因する指示の変動が見られることから、流量による制御（*）で運転を実施しております。この状態で原子炉の運転には支障ありませんが、万全を期するため、今後、適切な時期に原子炉を停止して、当該検出器の取替えを行う予定です。

以上

* 原子炉再循環ポンプ流量の制御方法には、「弁開度による制御」と「流量による制御」があり、今回、手順書に基づき「流量による制御」方法にて原子炉再循環ポンプ流量の制御機能を維持することにしたもの。